



# 松山

ガイドと行くまち歩き

## はいく

デビュー

正岡子規をはじめ、俳人を数多く輩出し、俳句に大変ゆかりの深いまち松山。松山を知り尽くした専属ガイドと一緒に、隠れたスポットや名店など、松山ならではの魅力を体験できる、出来たてほやほやのまち歩きプラン「松山はいく」を紹介します。

「松山はいく」の「はいく」は、「俳句」と、まち歩きを意味するハイキングの「ハイク」を掛けています。

### コース概要

春・夏・秋・冬、そして子規の5つの「しき」を感じながら、明治の時代に子規や漱石が実際に歩いた道をたどり、その感動を句に詠むまでを専属ガイドが手ほどき。最後に、自作の1句を地酒の瓶ラベルに書き、お土産として持ち帰ることができます。

**【所要時間】** 2時間20分

**【料金】** 2,000円

**【コース】** 放生園(10時10分) ↓ 湯釜薬師 ↓ 湯築城跡 ↓ 湯神社・分湯場 ↓ 道後温泉本館 ↓ 道後温泉商店街 ↓ 熟田津の道 ↓ 水口酒造 ↓ 放生園(12時30分)

**【ポイント】**

- ◆ 湯温調節のため1000年以上も使われてきた神々しい湯釜
- ◆ 道後温泉本館を空から見下ろすことができる空の散歩道
- ◆ 老舗の蔵元・水口酒造での酒・ビール造りの見学と試飲
- ◆ オリジナルラベルの地酒がお土産に!

### 1 「道後周辺」コース

## 道後でういの「しき」を感じる

今回は、「松山はいく」全9コースの中から、道後温泉周辺を散策するコースを地元の大学生2人に実際に体験してもらいました。

世界に一つしかない記念のボトルが完成!!

大内 孝夫さん

お気に入りの一句を今から投函します

高岡 弘実さん

### 参加者の声

**刻太鼓 凧負けず 鳴り響く**  
高岡 弘実さん (松山大学4年)

道後再発見と驚くことが多くて、楽しかったです。自分の思い通りに言葉が出てこなくて難しかったけど、最後に納得できる俳句ができました。

**息白し 草むらのサギ 湯あみかな**  
大内 孝夫さん (愛媛大学3年)

地元なのに知らないことばかりだったのが、もったいない。俳句作りは、気負わず感じたままに作った方がいいのかなと改めて感じました。

コース名	料金 (1人当たり)	出発・到着時間
2 子規と漱石が愛した松山スイーツ	3,000円	9:00~12:00
3 道後・朝はいく ~あの老舗旅館で一服~	2,000円	9:30~11:30
4 道後の国宝 四国八十八ヶ所 霊場の砂に想いをよせる	1,000円	9:30~11:30
5 子規の青春はいく	1,000円	10:10~12:10 10:30~12:30
6 雲から望む「明治の風景」	2,000円	14:00~16:00
7 くいしんぼう子規 松山グルメはいく	1,000円	14:30~16:30
8 子規と漱石の松山はいく ~お城下から道後温泉へ~	1,000円	10:10~12:10
9 はじめての松山はいく ~二大スポットをまち歩き~	2,000円	9:00~12:00

「松山はいく」全9コースの詳細については、ホームページ (<http://www.sakano>) シン (<http://www.sakano>) の詳細については、ホームページ (<http://www.sakano>) シン (<http://www.sakano>)

希望のコースと日程を選び、電話またはインターネットで簡単予約できます。

### 子規庵に観光俳句ポスト設置

「子規生誕の地から終焉の地へ」

「俳都・松山」のブランド化を目的に、市観光俳句ポストを、昨年12月23日、東京・根岸の「子規庵」に設置しました。子規庵のほか、法隆寺周辺(奈良県斑鳩町)、熊本城、博物館明治村(愛知県犬山市)など、県外の正岡子規や小説「坂の上の雲」ゆかりの地、ドラマのロケ地にも、同ポストを設置しています。

全コースの案内 [nenokumonomachi.jp/haiku/index.html](http://nenokumonomachi.jp/haiku/index.html) からダウンロードできるほか、公式ガイドブック(観光産業振興課(市役所本館8階)など)にも紹介されています。

### 予約方法

お問い合わせは、松山はいく事務局 ☎945 6445・FAX 934 6226 (日曜・祝日を除く10~17時)、観光産業振興課 ☎948 6557・FAX 934 1764へ